

1. 件名：「日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所第三低放射性廃液蒸発処理施設における漏水事象の対応に係る面談」
2. 日時：令和元年12月6日（金）13：30～15：15
3. 場所：原子力規制庁 2階会議スペース

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設等監視部門

白井上席監視指導官、福吉主任監視指導官、赤澤主任監視指導官

日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所

再処理廃止措置技術開発センター

環境保全部 処理第1課 マネージャー 他2名

5. 要旨

(1) 日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、平成31年4月に発生した第三低放射性廃液蒸発処理施設の漏水事象について、配付資料に基づき原因調査、対策等に関し以下のとおり説明があった。

・調査の結果、漏水の原因は冷却水配管エア抜き弁駆動部の動作劣化、ユーティリティ室床面シートのはがれ、コーキング部の劣化等であると判断した。

・当該調査結果を踏まえ、エア抜き弁の交換、ユーティリティ室床面の補修等の措置を実施した。また、再処理廃止措置技術開発センター内に当該事象及び対策内容を水平展開している。

(2) 原子力規制庁より、原因調査の観点からは今後、点検等の機会に蒸発缶セル内の状況を確認することも有効と考えること、是正処置については、施設を如何に健全に維持していくか、といった点も念頭に、事象者が定めた不適合管理の仕組みの中で適切に対応すること、当該是正処置の実施状況については、必要に応じ現地保安検査官により確認する旨、伝えた。

(3) 原子力機構から、承知した旨、返答があった。

6. その他

配付資料

「第三低放射性廃液蒸発処理施設 ユーティリティ室（G420）での漏水事象の原因及び対策について」